

たはいよいよ授業です。花の役割って何だろう？ちょっと考えてみましょう！

問題1 次の植物を花が咲くものと、咲かないものに分けなさい。

タンポポ ウメ マツ コケ コンブ ユリ イネ サボテン ドクダミ



問題2 花の基本的なつくりを標本を作って調べてみよう！（セロテープで固定）

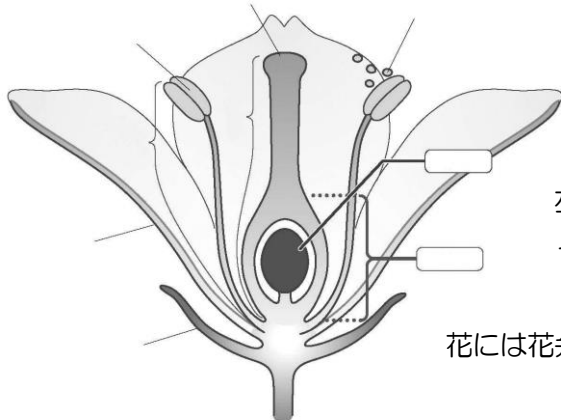
アブラナ

ツツジ

タンポポ

まとめ

基本的に花の中央には（ ）が1本あり、そのまわりを複数の（ ）が囲んでいる。
その外側の（ ）と（ ）でそれらを保護している。



めしべの先端の部分を（ ）という。
おしべの先端の袋状のものを（ ）という。

左の図でめしべの根元のふくらんだ部分を（ ）という。
その中には小さな粒状の（ ）がある。

花には花弁がアブラナのように1枚1枚離れている花（ ）と、
ツツジのように互にくっついてる花（ ）がある。

1年 組 番 氏名

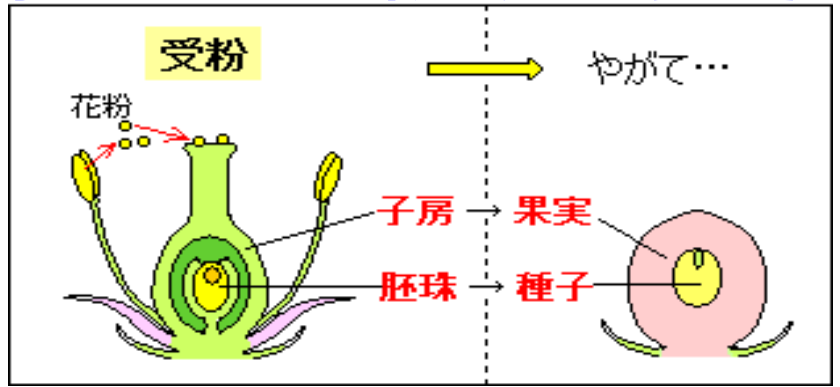
花のはたらきを調べよう！（果実と種子）

おしべのやくから出た花粉がめしべの柱頭につくことを（ ）という。

花粉は（ ）や（ ）などの力によって運ばれる。

風によって花粉を運ぶ花を（ ）

虫などによって花粉を運ぶ花を（ ）という。



受粉するとめしべの根もとの子房の部分は成長して（ ）になる。

子房の中の胚珠は（ ）になる。地面に落ちた種子はその後、発芽して次の世代の植物になる。

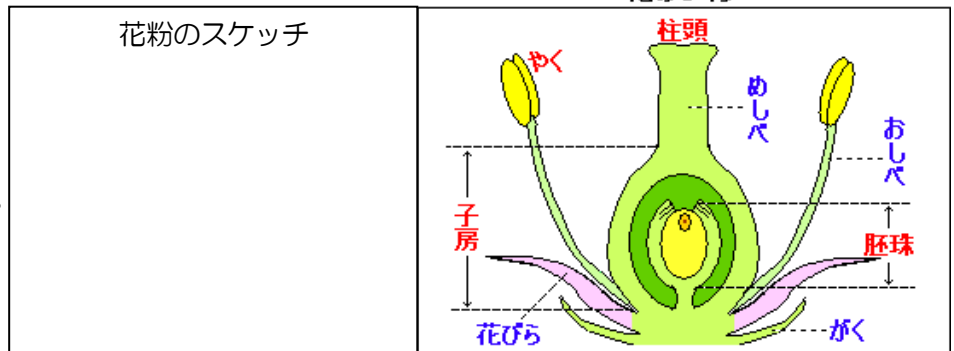
このように（ ）が（ ）に包まれている植物を（ ）という。
花のつくり

観察1 花粉を観察しよう。

●方法

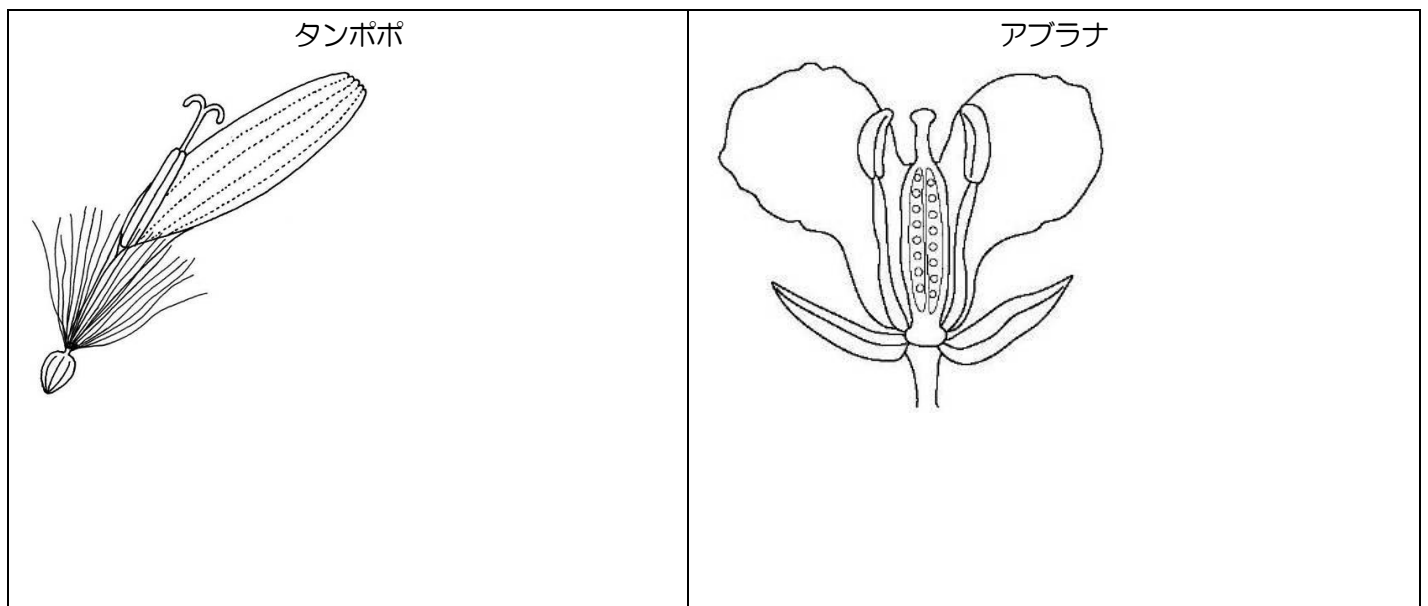
スライドガラスに花粉を落とし、プレパラートを作って顕微鏡で観察する。

●花粉は、めしべのどこにつきますか？



出典 りかちゃんのサブノート

観察2 いろいろな植物の花と実（果実）を観察し、花のどの部分が果実になったかを考え、○で囲みましょう。



1年 組 番 氏名